



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 ナカバヤシ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7987 URL <https://www.nakabayashi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 湯本 秀昭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 作田 一成 TEL 06-6943-5555
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	45,761	△4.7	1,275	5.3	1,659	11.9	900	△4.5
2020年3月期第3四半期	48,036	3.1	1,211	11.7	1,483	5.3	942	2.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,290百万円 (15.2%) 2020年3月期第3四半期 1,119百万円 (73.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	34.91	-
2020年3月期第3四半期	36.62	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	58,640	26,834	42.1
2020年3月期	55,782	26,106	43.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 24,658百万円 2020年3月期 24,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	10.00	-	12.00	22.00
2021年3月期	-	10.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	△2.0	2,550	8.7	2,900	6.0	1,650	5.6	63.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	28,794,294株	2020年3月期	28,794,294株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,993,465株	2020年3月期	3,030,402株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	25,786,165株	2020年3月期3Q	25,750,337株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により制限された人の移動がG o T oキャンペーンなどにより少しずつ緩和されたことから、購買活動・外食・レジャー・旅行関連の個人支出も徐々に回復の兆しが見えてきました。しかし、感染の終息時期は依然として見通せず、世界各国においても先行きの不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、中期経営計画「総・想・創」（そう・そう・そう）の最終年度を迎え、Web商談やリモートワークを活用するなど感染拡大防止対策を推進する一方、製品やサービスの安定供給と収益改善に努めてまいりました。利益面では、売上高は減少しましたが工程の一部自動化や内製化を進めたことで原価率が改善し、営業利益および経常利益は増加しました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億円となりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は下記の通りであります。

売上高	457億61百万円	(前年同四半期比4.7%減)
営業利益	12億75百万円	(前年同四半期比5.3%増)
経常利益	16億59百万円	(前年同四半期比11.9%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	9億円	(前年同四半期比4.5%減)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ビジネスプロセスソリューション事業

BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）業務は、現場の煩雑な作業をオールインワン・ワンストップで行える強みを生かし、官公庁から特別定額給付金の支給に関するアウトソーシング業務を受託しましたが、各種試験運営の受託は延期や自粛により大きく影響を受けました。ノベルティ制作および包材業務は、販売促進キャンペーンやイベントの中止、企業の贈答用手帳は外出自粛要請発出の影響で直接訪問する機会が控えられたこともあり減少しました。図書館ソリューション業務は、公共図書館などの委託業務やカウンター業務請負が図書館の再開に合わせて回復しました。大学などの雑誌製本業務は例年と比較して減少傾向にありましたが10月～12月の期間はやや持ち直し、売上高及び営業利益は前年同期並みを維持しました。

この結果、当事業の売上高は242億79百万円（前年同四半期比10.1%減）、営業利益は1億90百万円（前年同四半期比61.0%減）となりました。

② コンシューマーコミュニケーション事業

在宅勤務の定着により、USBハブやヘッドセット、折り畳みテーブルや家庭用シュレツダなどのリモートワーク関連用品の販売が伸長しました。飛沫飛散低減対策用品ならびに災害復興関連用品として今期より発売を開始したアクリル製や段ボール製パーティション、足踏み消毒ポンプスタンドなどの製品群は自治体や企業からの引き合いもあり引き続き好調に推移しました。また、政府が推進する「GIGAスクール構想」対応製品のタブレット保管庫やローマ字表を印刷したマウスパッドなど学童向けパソコン周辺用品も順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は149億50百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は8億67百万円（前年同四半期比50.4%増）となりました。

③ オフィスアプライアンス事業

事務機器の保守点検業務は経済活動の段階的な再開により、昨対には及ばないものの緩やかながら回復傾向にあります。オフィス家具は在宅勤務の定着でビジネスチェアが企業向け通販サイト経由で伸長しました。

多くの企業が導入を検討するDX（デジタルトランスフォーメーション）によりペーパーレス化が進展することが想定され、シュレツダ以外の新規商材として取り扱いを開始した調光ガラス『N-Smart（エヌ・スマート）』を東京本社（東京都板橋区）と大阪本社（大阪市中央区）に設置いたしました。今後、積極的に営業活動を展開していきます。

この結果、当事業の売上高は51億67百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は2億83百万円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

④エネルギー事業

木質バイオマス発電は、前年同期に稼働が一時停止したため売上高、営業利益が減少しましたが、今期は計画通り順調に稼働いたしました。また、太陽光発電も順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は12億86百万円（前年同四半期比19.6%増）、営業利益は1億94百万円（前年同四半期比60.2%増）となりました。

⑤その他

野菜プラント事業及びにんにくファーム事業等であり、売上高は78百万円（前年同四半期比22.7%減）、営業損失は30百万円（前年同四半期営業損失23百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15億77百万円増加し、285億89百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が4億16百万円、商品及び製品が8億62百万円、仕掛品が3億59百万円、それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12億80百万円増加し、300億50百万円となりました。これは建設仮勘定が5億51百万円減少しましたが、建物及び構築物が11億92百万円、投資有価証券が4億50百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて28億58百万円増加し、586億40百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23億77百万円増加し、199億9百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が3億50百万円減少しましたが、短期借入金が27億25百万円、未払金が3億6百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億47百万円減少し、118億96百万円となりました。これは長期借入金1億19百万円減少したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて21億29百万円増加し、318億5百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億28百万円増加し、268億34百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が2億56百万円、利益剰余金が3億33百万円それぞれ増加したことなどによります。

純資産が増加した以上に総資産が増加したことから、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は42.1%となり、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月7日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,847	6,575
受取手形及び売掛金	10,314	10,731
商品及び製品	5,601	6,464
仕掛品	684	1,044
原材料及び貯蔵品	1,427	1,611
その他	2,138	2,166
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	27,012	28,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,896	8,089
機械装置及び運搬具（純額）	5,312	5,151
土地	10,820	11,236
建設仮勘定	606	55
その他（純額）	209	208
有形固定資産合計	23,845	24,741
無形固定資産		
のれん	477	554
その他	311	277
無形固定資産合計	789	831
投資その他の資産		
投資有価証券	2,130	2,580
退職給付に係る資産	294	370
繰延税金資産	724	514
その他	992	1,041
貸倒引当金	△5	△28
投資その他の資産合計	4,135	4,478
固定資産合計	28,770	30,050
資産合計	55,782	58,640

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,358	6,007
短期借入金	5,319	8,044
未払金	2,819	3,125
未払費用	440	474
未払法人税等	512	194
賞与引当金	653	385
その他	1,428	1,676
流動負債合計	17,531	19,909
固定負債		
長期借入金	7,987	7,867
退職給付に係る負債	3,358	3,364
繰延税金負債	342	341
その他	456	323
固定負債合計	12,144	11,896
負債合計	29,676	31,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,759	8,761
利益剰余金	9,980	10,313
自己株式	△1,549	△1,530
株主資本合計	23,856	24,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	313	569
繰延ヘッジ損益	20	△11
為替換算調整勘定	76	74
退職給付に係る調整累計額	△193	△184
その他の包括利益累計額合計	215	447
非支配株主持分	2,033	2,175
純資産合計	26,106	26,834
負債純資産合計	55,782	58,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	48,036	45,761
売上原価	36,146	33,785
売上総利益	11,889	11,975
販売費及び一般管理費	10,678	10,700
営業利益	1,211	1,275
営業外収益		
受取賃貸料	89	126
受取配当金	70	63
受取保険金	92	102
雇用調整助成金	—	120
その他	139	109
営業外収益合計	391	523
営業外費用		
支払利息	46	59
貸与資産諸費用	21	34
その他	51	45
営業外費用合計	120	139
経常利益	1,483	1,659
特別利益		
固定資産売却益	15	2
投資有価証券売却益	98	2
補助金収入	1	—
特別利益合計	115	4
特別損失		
固定資産処分損	7	29
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	17	1
特別損失合計	24	30
税金等調整前四半期純利益	1,574	1,634
法人税、住民税及び事業税	463	496
法人税等調整額	59	113
法人税等合計	523	610
四半期純利益	1,050	1,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	107	123
親会社株主に帰属する四半期純利益	942	900

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,050	1,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	308
繰延ヘッジ損益	2	△32
為替換算調整勘定	△14	△1
退職給付に係る調整額	12	△7
その他の包括利益合計	68	267
四半期包括利益	1,119	1,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011	1,132
非支配株主に係る四半期包括利益	108	158

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

3. その他

(公正取引委員会による立ち入り検査について)

当社は、2019年10月8日、日本年金機構の入札に関して独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立ち入り検査を受けました。当社といたしましては、今回、立ち入り検査を受けた事実を厳粛に受け止め、公正取引委員会の検査に全面的に協力しております。今後の進展につきましては、判明次第開示してまいります。